

歯科に関する Q&A

保護者や養護教諭から良く受ける質問に対して回答をつけてみました。若年者の臨床や学校歯科活動をする際の参考にしていただければ幸いです。

潮来市学校歯科医会

1) フッ素でむし歯の進行は止まるのか？

フッ素は歯の質を強化してむし歯を予防したり、穴になっていない初期むし歯の進行を止めるときに使用します。穴が開き完全にむし歯になってしまった歯に対しては、詰め物や金属などのむし歯治療が必要です。また、むし歯を予防するためにはフッ素を使用するだけではなく適正な歯磨きができていることが不可欠です。安易にむし歯を放置せずに歯科医師と相談しながら治療を進めるようにしてください。

2) 永久前歯が白濁しているが、大丈夫か？

むし歯菌が出す酸で歯の表面が溶けて始めている脱灰による白濁か、元々の歯の模様なのかを判断する必要があります。歯の表面に歯垢が多く付着しているときは、脱灰による白濁で初期むし歯の可能性が高いです。初期むし歯の場合、フッ素や適正な歯磨きで再石灰化する可能性がありますので、できるだけ早めの受診が必要です。

3) 乳歯脱落、抜歯後、永久歯が生えてくるのが遅いがそのままでもいいか？

自然に脱落した場合、抜けた部位に骨の盛りあがりを確認できれば、基本的に経過観察をすることが多いです。これに対して抜歯後は、歯肉が厚く硬くなってしまって歯が出てこない原因になってしまっていることがあります。この場合、歯肉を小さく切開して積極的に歯の萌出を促す処置をするようになります。また、下の前歯が長期間はえてこない場合には先天性の欠如の疑いが強いです。いずれにしても、診査にはX線写真が必要になりますので、6ヶ月程度をこえて永久歯が出てこないときは歯科医院で相談をしてください。

4) 永久前歯がとても大きいですが、問題ないか？

通常、永久前歯は乳前歯より1.2～1.5倍程度大きいものになります。特に上の4本の前歯だけがはえかわった状態だと、周りが小さい乳歯なので、そのサイズはとても大きく感じると思います。歯並びの善し悪しに関しては、歯の大きさよりも顎や歯列のサイズとの調和が重要になってきますので、今後の成

長に対する経過観察が必要になるでしょう。

5) 永久前歯が曲がって出てきてしまったが、大丈夫か？

通常、歯は萌出した後で、舌と唇、頬の圧力とのバランスで正常な位置に並んでいきます。そのため、出てきた直後にある程度歯が捻れてしまっている場合でも、それは解消されることが多いです。ただし、歯列のスペース不足や唇のヒダの異常、過剰歯などにより解消されないケースも少なくはありません。鼻疾患などでいつも口が開いている状態であったり、悪習癖（指しゃぶりや鉛筆かじり等）がある場合には、特に注意が必要です。

6) 乳歯がまだ残っているのに永久歯がはえてきた。乳歯を取り除いた方がよいのか？

乳前歯は数日のうちに自然に脱落する可能性が高いため、あまり問題視しないことが多いです。ただし、歯の動きが大きく食事の際に不快感があったり、歯肉に腫れや痛みが出ているようなときは積極的に抜歯する場合があります。これに対して乳臼歯では、なかなか脱落せずに長期間残存してしまうことがしばしば見られます。この場合、歯列不正を増長したり、はえてきた永久歯や隣接の永久歯がむし歯になってしまうリスクが高くなります。永久歯がはえてきた部位が奥歯の場合は注意が必要です。

7) 歯と歯の間に空隙があるが、問題ないか？

年齢や体の成長具合、空隙の程度にもよりますが、基本的に問題はありません。特に乳歯の頃の歯列では、空隙があってもそれは何ら問題がありません。ただし、左右で空隙の様子が違うような場合は、埋伏歯や先天性の欠損など何らかの問題がある可能性があります。また、上の前歯の間だけが開いている場合は唇のヒダの異常が考えられます。これは比較的簡単な処置で治すことができますので、歯科医院で診査してもらう必要があります。

8) 永久歯が黄色っぽいのが大丈夫なのか？

黄色人種の場合、永久歯は乳歯に比べ黄色く見えるのが普通です。特に前歯だけが永久歯に生え替わっている時期には、周りが乳歯のため特に黄色く見えるものです。はえてきた永久歯が青黒かったり、ひどく茶褐色に見える場合は、先天性の異常が考えられます。歯科医院でアドバイスを受けた方がよろしいと思います。最近よく見られる芸能人などの歯の白さは人工的なものであり、決して健康的な色ではありません。

9) 乳前歯がくっついているが永久歯に影響はないか？

前歯と前歯、もしくは前歯と犬歯がくっついてできてしまった歯を癒合歯といいます。これは、下の乳歯で見られることがあります。問題ないことが多いです。しかし時には、はえてくるはずの永久歯の数が足りなかったり、永久歯まで癒合している場合もありますので、はえかわりの前に X 線写真による診査が必要だと思えます。

1 0) 歯ぎしりで乳歯が平らになっている。永久歯に問題はないか？

特に問題はなく、乳歯ではよく見られる状況です。ただし、その程度が強く、歯の動揺、歯や顎の痛みを伴う場合は、歯科医院での診査が必要だと思えます。

1 1) 指しゃぶりをしているが、大丈夫か？

授乳期における指しゃぶりは、口や舌の機能を発達させる上でとても重要なものです。しかし、3歳を越えての指しゃぶりは、歯並びにも口の機能にも悪い影響を及ぼす危険性があります。いつも指が入っている分、上下の前歯どおしがかみ合わなくなったり、唇が閉じづらくなったりします。指しゃぶりは早急に止めさせるべきですが、思わぬ所にその原因があることが多いため、歯科医師と相談して適切な止めかたを決定する必要があります。

1 2) 出っ歯が気になる。このまま放っておいて問題ないか？

主観の差や出かたの程度の違い、年齢においても対応が異なるため、適当な回答というものはありません。気になるようだったら、受診して診査をしてもらうのが良いと思えます。鼻疾患や悪習癖が伴う場合は、放置するとより悪化する傾向が強いため注意が必要です。

1 3) 矯正治療を考えているが、いつ頃開始するのが適当か？

ケースバイケースなので一概には回答できません。治療を早く開始することが重要なのではなく、早く診断を受け、適切な時期を見極めてもらうことが重要であると言えます。矯正治療は、受ける患者さんの強い意志と協力が必要です。親が一方的に決めてしまうのではなく、事前に子供との十分な相談をするようにしましょう。

1 4) 八重歯はそのままで良いのか？

八重歯とは、歯列に並びきらないで外側にはみ出してしまった上の犬歯のことをいいます。八重歯に対する審美観は人によってそれぞれ異なりますが、気になる場合は受診をして、はみ出しの程度や治療法を確認しておく必要があると思います。将来的には、尖った歯の先での外傷や、歯磨きのしにくさから生じるむし歯のリスクがあることをおぼえておきましょう。

1 5) 歯並び、噛み合わせなどは、だんだんと良くなっていくものなのか？

永久歯への交換、成長の度合いにより良くなることもあれば、悪くなることもあります。成長の予想を加味した診断と予後の観察を受けることが重要だと思います。両親に噛み合わせや歯列の不正がある場合には、改善されず、悪くなっていく傾向があります。

1 6) 外傷で抜けてしまった歯はどうすればよいか？

外傷を受け乳歯が抜けてしまった場合は、そのまま永久歯が出てくるまで待つことが多いです。これに対し、永久歯の場合には再植（歯を元に戻して固定すること）をすることが可能です。抜けた歯は砂やゴミを水洗して、生理的食塩水、新鮮な牛乳に入れてください。このとき注意することは、こすり洗いをしない、乾燥をさせないことです。可能であるなら、抜けたところに歯を戻したり、口の中に入れてそのまま受診されるのも良いと思います。時間の経過とともに再植の成功率は下がりますので、いかに早く処置を受けるかが成功のカギを握ります。脱臼後30分以内なら再植の成功率は非常に高く予後も良好ですが、2時間を超えると再植自体が成功しても後々で症状が出てくることが多いです。